

自治体職員協力交流事業（L G O T P）

で来日した研修員は全国各地で研修に取り組んでいます！

平成 26 年度（2014 年度）の L G O T P 事業では、現在、11 か国から 34 名の研修員が、26 自治体で研修を受けています。

研修員は 5 月 18 日に来日し、約 1 か月間、日本語の研修を受講した後、全国の自治体で、それぞれの研修に取り組んでいます。

研修の分野は、国際交流、観光、農業、環境、水道技術、教育など多岐に渡っています。また、地元行事などへも積極的に参加し、市民との交流に励んでいます。

研修期間は 6 か月から 11 か月です。

★茨城県笠間市での研修の様子

笠間市では、今回、ミャンマーとラオスから研修員を受け入れています。研修員は笠間市商工観光課において、市が取り組んでいる観光施策について、日々学んでいます。

笠間市はこの研修をきっかけに互いの国との交流を活発にしていきたいと考えています。

研修員の活動の様子は笠間市のホームページにも掲載されています。

笠間市ホームページ「ティン&ビンボの研修報告」

<http://www.city.kasama.lg.jp/page/page005352.html>



笠間特別観光大使 笠間のいな吉と



笠間のまつりを実体験